

(工種)

(特性)

水路工

プレキャストU字側溝・
自由勾配側溝工

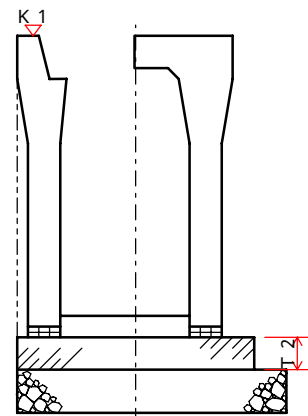
測定結果一覧表

測定者名 日本太郎

印

測定月日	測定番号		実測値A	設計値B	設計値との差 C = A - B	規格値	自主管理値	摘要
	No.0	K 1	95.250	95.250	±0	±30		
		W 1	1,000	1,000	±0	-50		
		T 1	200	200	±0	-30		
		W 2	799	800	-1	-50		
		T 2	99	100	-1	-30		
	BC1	K 1	96.526	96.530	-4	±30		
		W 1	998	1,000	-2	-50		
		T 1	204	200	+4	-30		
		W 2	796	800	-4	-50		
		T 2	103	100	+3	-30		
	No.1	K 1	96.572	96.570	+2	±30		
		W 1	1,001	1,000	+1	-50		
		T 1	202	200	+2	-30		
		W 2	799	800	-1	-50		
		T 2	102	100	+2	-30		

1. 記事

 $\bar{X}_1 =$ mm

記事欄には手直しの処理などを記入する。

(工種)

(特性)

水路工

プレキャストU字側溝・
自由勾配側溝工

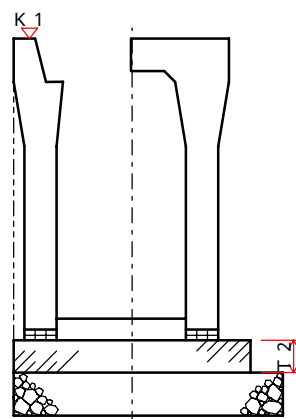
測定結果一覧表

測定者名 日本太郎

印

測定月日	測定番号		実測値A	設計値B	設計値との差 C = A - B	規格値	自主管理値	摘要
	W 1	No. 0	1,000	1,000	±0	-50		
	W 1	BC1	998	1,000	-2	-50		
	W 1	No. 1	1,001	1,000	+1	-50		
	W 1	No. 1+5.5 00	1,003	1,000	+3	-50		
	W 1	SP1	1,003	1,000	+3	-50		
	W 1	No. 2	1,000	1,000	±0	-50		
	W 1	EC1	1,000	1,000	±0	-50		
	W 1	KA2-1	998	1,000	-2	-50		
	W 1	No. 2+6.8 00	998	1,000	-2	-50		
	W 1	No. 3	1,004	1,000	+4	-50		
	W 1	KA2-2	1,002	1,000	+2	-50		
	W 1	No. 4	1,002	1,000	+2	-50		
	W 1	KA3-1	1,001	1,000	+1	-50		
	W 1	KE3	1,000	1,000	±0	-50		
	W 1	No. 5	1,000	1,000	±0	-50		

1. 記事

 $\bar{X}_1 =$ mm

記事欄には手直しの処理などを記入する。

様式 8

工事名 国道 x号線改良工事

(工 種)

(特 性)

水路工

W 1

測定者名 日本太郎

測定番号	実測値 A	設計値 B	設計値と差 C = A - B	管理基準値		摘 要
				U C L	L C L	
No.0	1,000	1,000	±0			
BC1	998	1,000	-2			
No.1	1,001	1,000	+1			
No.1+5.500	1,003	1,000	+3			
SP1	1,003	1,000	+3			
No.2	1,000	1,000	±0			
EC1	1,000	1,000	±0			
KA2-1	998	1,000	-2			
No.2+6.800	998	1,000	-2			
No.3	1,004	1,000	+4			
KA2-2	1,002	1,000	+2			
No.4	1,002	1,000	+2			
KA3-1	1,001	1,000	+1			
KE3	1,000	1,000	±0			
No.5	1,000	1,000	±0			
KA3-2	1,003	1,000	+3			
EP	1,000	1,000	±0			

1. 記事

記事欄には、手直しの処置等を記入する。

工 種

測定種目 (W 1)

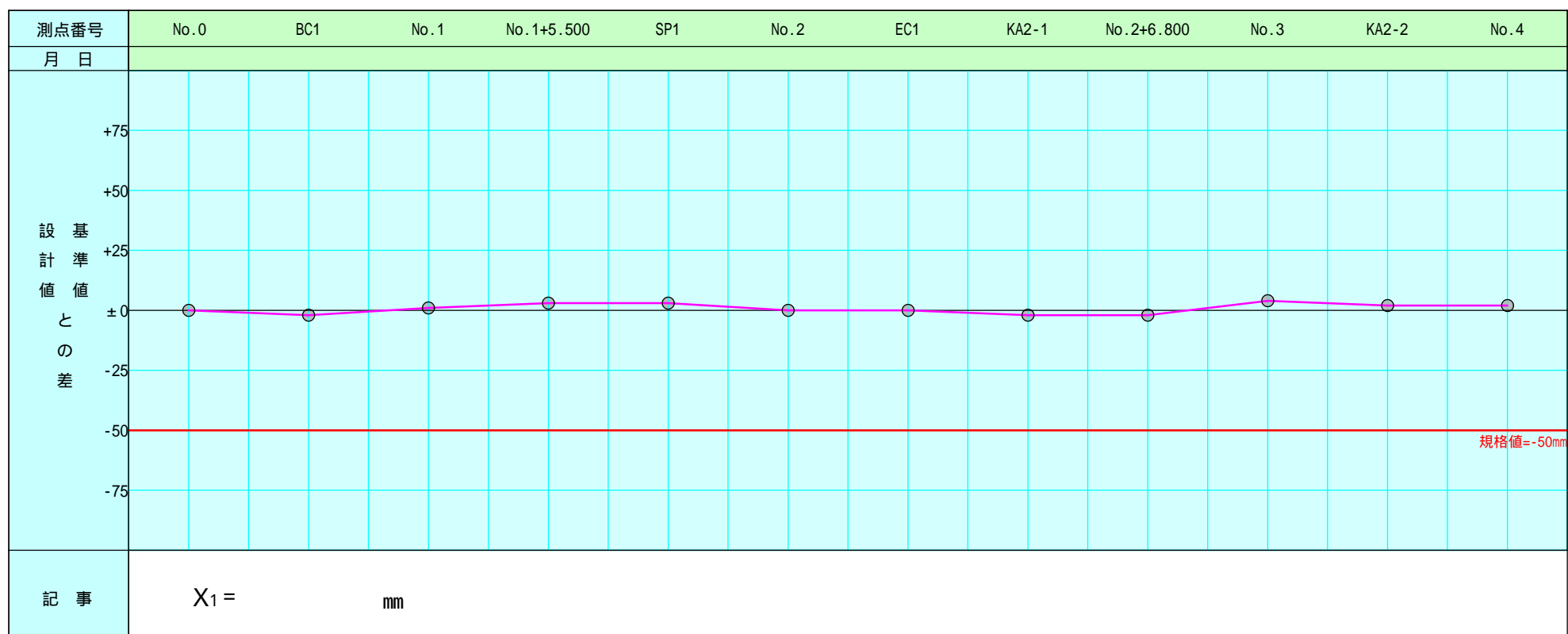
水路工

プレキャストU字側溝
・自由勾配側溝工

出来形管理図表 (X - 管理図)

測定者名 日本太郎

印



1. 基準線を適宜定める。
2. 設計値等との差の単位を定め目盛に数値をいれる。
3. 図表には、許容範囲（規格値）の線を朱色で記入する。
4. 起点から終点に向かって順序よく記入する。
5. 記事欄には手直しの処理等を記入する。

(工 種)

水路工

(特 性)

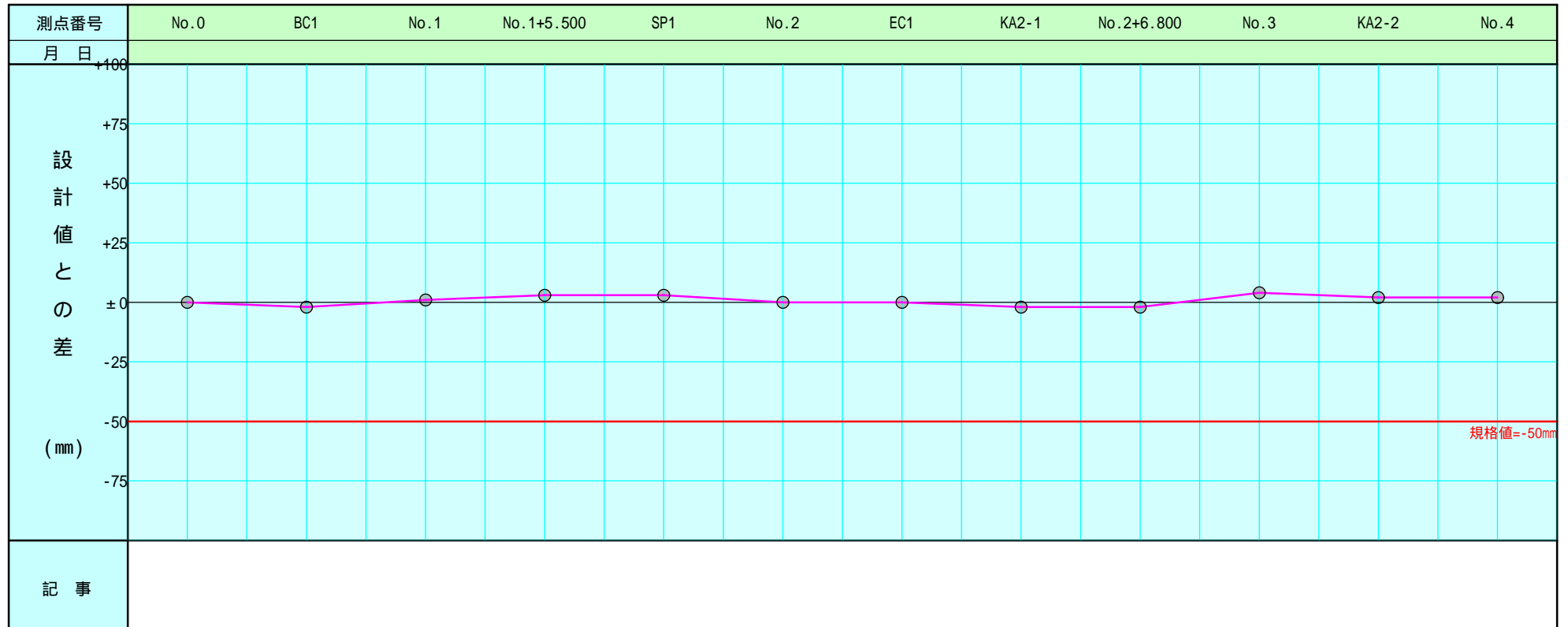
プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工

出来形管理図表

測定者名 日本太郎

印

W 1



1. 基準線を適宜定める。
2. 設計値等との差の単位を定め目盛に数値をいれる。
3. 図表には、許容範囲（規格値）の線を朱書で記入する。
4. 起点から終点に向って順序よく記入する。
5. 記事欄には手直しの処理等を記入する。
6. 規格値50%および80%値の線を表示する。

様式-3

工 種
水路工

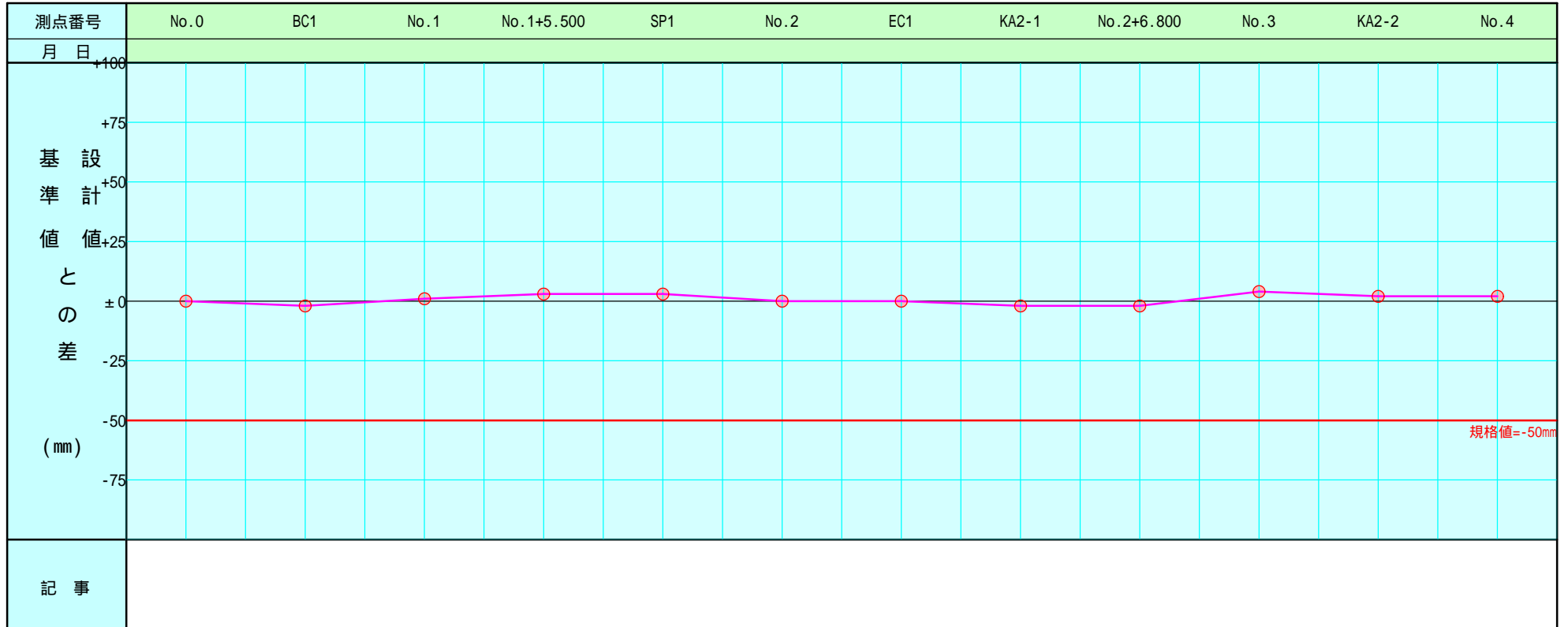
試験（測定）種目
プレキャストU字側溝・自
由勾配側溝工

品質管理図表（X-管理図）

測定者名 日本太郎

印

W 1



1. 基準線を適宜定める。
2. 設計値等との差の単位を定め目盛に数値をいれる。
3. 図表には、許容範囲（規格値）の線を朱書で記入する。
4. 起点から終点に向って順序よく記入する。
5. 記事欄には手直しの処理等を記入する。
6. 規格値50%および80%値の線を表示する。

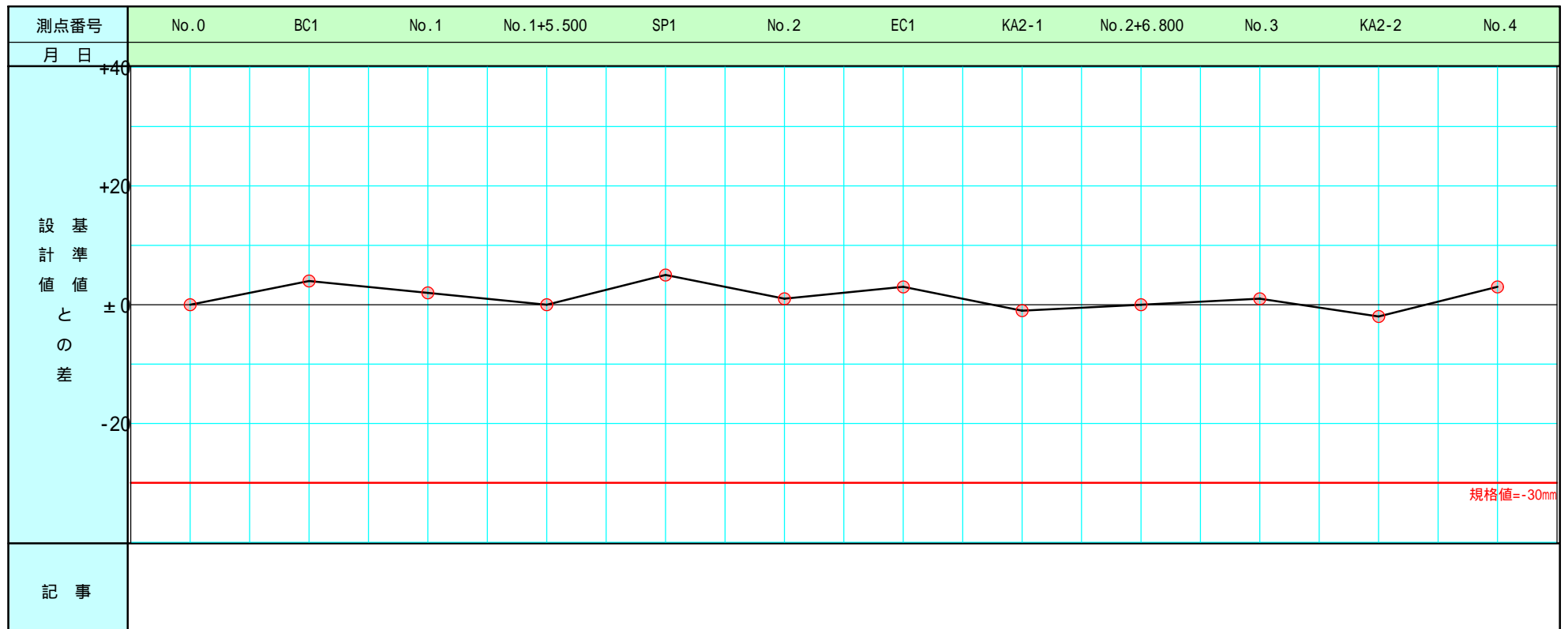
工種
水路工

試験(測定)種目
T 1

品質管理図表 (X - 管理図)

測定者名 日本太郎

印



1. 基準線を適宜定める。
2. 設計値等との差の単位を定め目盛に数値をいれる。
3. 図表には、許容範囲（規格値）の線を朱書で記入する。
4. 起点から終点に向って順序よく記入する。
5. 記事欄には手直しの処理等を記入する。
6. 規格値50%および80%値の線を表示する。

(工種)

(特性)

水路工

プレキャストU字側溝・
自由勾配側溝工

測定結果一覧表

測定者名 日本太郎

印

測定月日	測定番号		実測値A	設計値B	設計値との差 C = A - B	規格値	自主管理値	摘要
	W 1	No.0	1,000	1,000	±0	-50		
		BC1	998	1,000	-2	-50		
		No.1	1,001	1,000	+1	-50		
		No.1+5.5 00	1,003	1,000	+3	-50		
		SP1	1,003	1,000	+3	-50		
		No.2	1,000	1,000	±0	-50		
		EC1	1,000	1,000	±0	-50		
		KA2-1	998	1,000	-2	-50		
		No.2+6.8 00	998	1,000	-2	-50		
		No.3	1,004	1,000	+4	-50		
		KA2-2	1,002	1,000	+2	-50		
		No.4	1,002	1,000	+2	-50		
		KA3-1	1,001	1,000	+1	-50		
		KE3	1,000	1,000	±0	-50		
		No.5	1,000	1,000	±0	-50		
		KA3-2	1,003	1,000	+3	-50		
		EP	1,000	1,000	±0	-50		

1. 記事

記事欄には手直しの処置等を記入する。

様式-2 工種

試験（測定）種目

水路工

プレキャストU字側溝・
工自由勾配側溝工 試験（測定）結果一覧表

測定者名 日本太郎

印

測定月日	測定番号		試験(測定)値	設計値	規格値	自主管理値	摘要
	W 1	No.0	1,000	1,000	-50		
		BC1	998	1,000	-50		
		No.1	1,001	1,000	-50		
		No.1+5.5 00	1,003	1,000	-50		
		SP1	1,003	1,000	-50		
		No.2	1,000	1,000	-50		
		EC1	1,000	1,000	-50		
		KA2-1	998	1,000	-50		
		No.2+6.8 00	998	1,000	-50		
		No.3	1,004	1,000	-50		
		KA2-2	1,002	1,000	-50		
		No.4	1,002	1,000	-50		
		KA3-1	1,001	1,000	-50		
		KE3	1,000	1,000	-50		
		No.5	1,000	1,000	-50		
		KA3-2	1,003	1,000	-50		
		EP	1,000	1,000	-50		

1. 記事

記事欄には手直しの処置等を記入する。

(工種)

(特性)

水路工

プレキャストU字側溝・自由
勾配側溝工

測定結果一覧表

測定者名 日本太郎

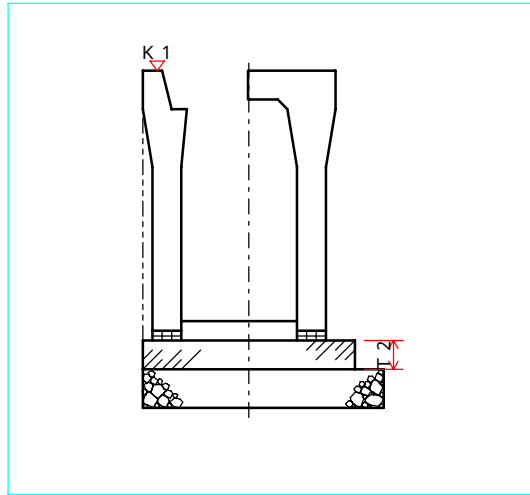
印

測定月日	測定番号		実測値A	設計値B	設計値との差 C = A - B	規格値	自主管理値	摘要
	No.0	K 1	95.250	95.250	±0	±30		
		W 1	1,000	1,000	±0	-50		
		T 1	200	200	±0	-30		
		W 2	799	800	-1	-50		
		T 2	99	100	-1	-30		

1. 記事
記事欄には手直しの処置等を記入する。

プレキャストU字側溝・自由
勾配側溝工

出来形管理結果表



工事名 国道 x号線改良工事

工種名 水路工

現場代理人 日本太郎

印

測定者 日本太郎

印

測定位置	K 1 (規格値 ±30)			W 1 (規格値 -50)			T 1 (規格値 -30)			W 2 (規格値 -50)		
	測点	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値
No.0	95.250	95.250	±0	1,000	1,000	±0	200	200	±0	800	799	-1
BC1	96.530	96.526	-4	1,000	998	-2	200	204	+4	800	796	-4
No.1	96.570	96.572	+2	1,000	1,001	+1	200	202	+2	800	799	-1
No.1+5.500	97.290	97.290	±0	1,000	1,003	+3	200	200	±0	800	804	+4
SP1	97.390	97.385	-5	1,000	1,003	+3	200	205	+5	800	805	+5
No.2	97.680	97.679	-1	1,000	1,000	±0	200	201	+1	800	798	-2
EC1	97.700	97.702	+2	1,000	1,000	±0	200	203	+3	800	804	+4
KA2-1	97.625	97.628	+3	1,000	998	-2	200	199	-1	800	796	-4
No.2+6.800	99.985	99.987	+2	1,000	998	-2	200	200	±0	800	799	-1
No.3	97.916	97.920	+4	1,000	1,004	+4	200	201	+1	800	803	+3

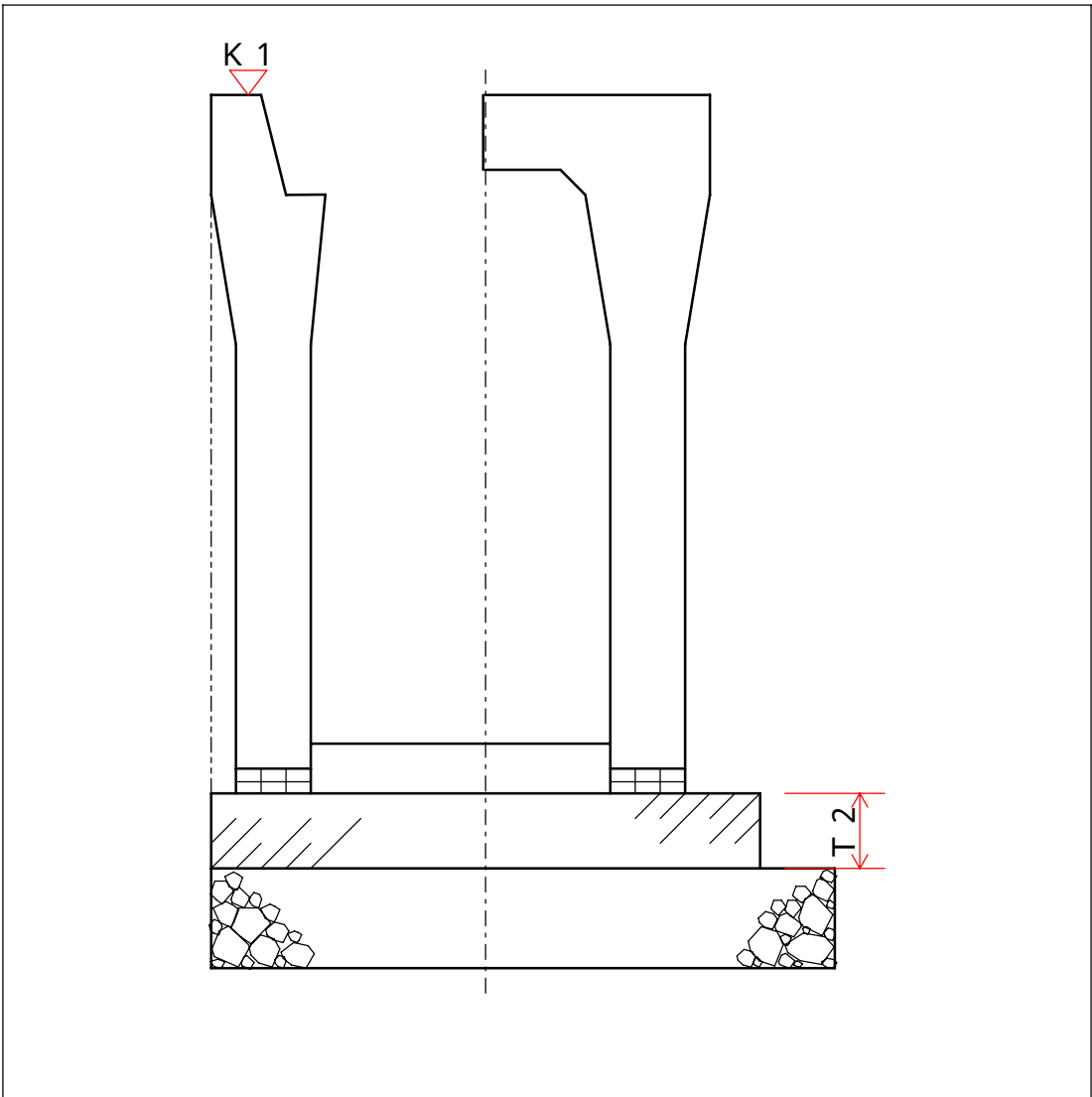
出来形管理結果表

工事名 国道 x号線改良工事

工種	水路工
種別	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工

構造図

番号	測定日	測定箇所	設計値	実測値	規格値	差
1		K 1	95.250	95.250	± 30	± 0
2		W 1	1,000	1,000	-50	± 0
3		T 1	200	200	-30	± 0
4		W 2	800	799	-50	-1
5		T 2	100	99	-30	-1



国道 ×号線改良工事 水路工

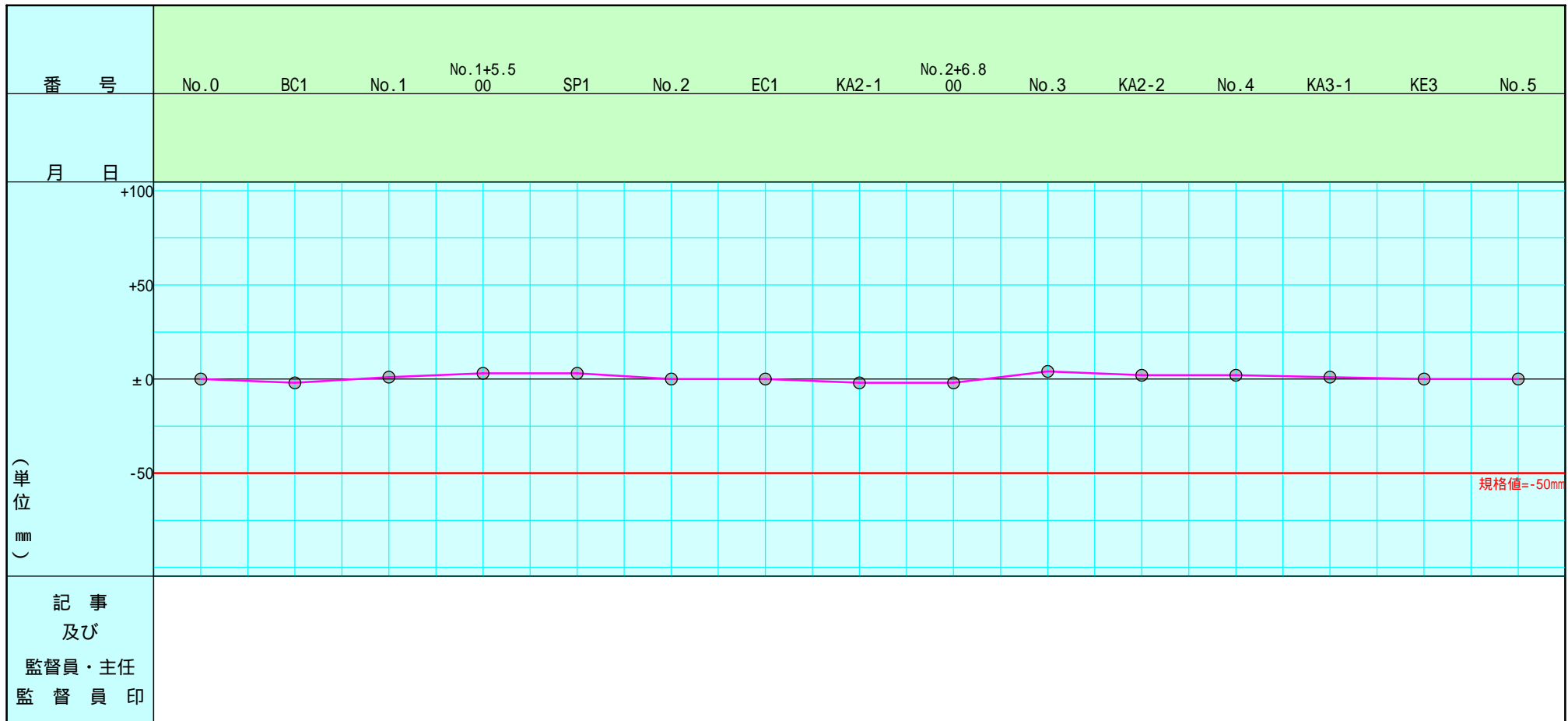
プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工

管理表 (W 1)

現場代理人 日本太郎 印

発注者 _____

測定者 日本太郎 印



- 注. 1. 工種名は土工、路盤工、側コウ工、ノリ履工、ノリ留工等と記入する。
- 2. 概題は、厚管理図表、基準高管理図表、3 m平たん性管理図表等と記入する。
- 3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向かって順序に記入しておく。
- 4. 月日は、測定の際、該当測量番号にあたるものを記入する。

- 5. 設計値と実測値の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
- 6. 図表には規格値の線を朱書で記入する。
- 7. 記事は、手直しの処置等を記入承諾印を押す。

工種

試験(測定)種目

水路工

W 1

試験(測定)結果一覧表

試験(測定)者名 日本太郎

印

測定月日	測定番号	試験(測定)値	設計値	規格値	自主管理値	摘要
	No.0	1,000	1,000	-50		
	BC1	998	1,000	-50		
	No.1	1,001	1,000	-50		
	No.1+5.500	1,003	1,000	-50		
	SP1	1,003	1,000	-50		
	No.2	1,000	1,000	-50		
	EC1	1,000	1,000	-50		
	KA2-1	998	1,000	-50		
	No.2+6.800	998	1,000	-50		
	No.3	1,004	1,000	-50		
	KA2-2	1,002	1,000	-50		
	No.4	1,002	1,000	-50		
	KA3-1	1,001	1,000	-50		
	KE3	1,000	1,000	-50		
	No.5	1,000	1,000	-50		
	KA3-2	1,003	1,000	-50		
	EP	1,000	1,000	-50		

記事 手直しの処置等を記入する。

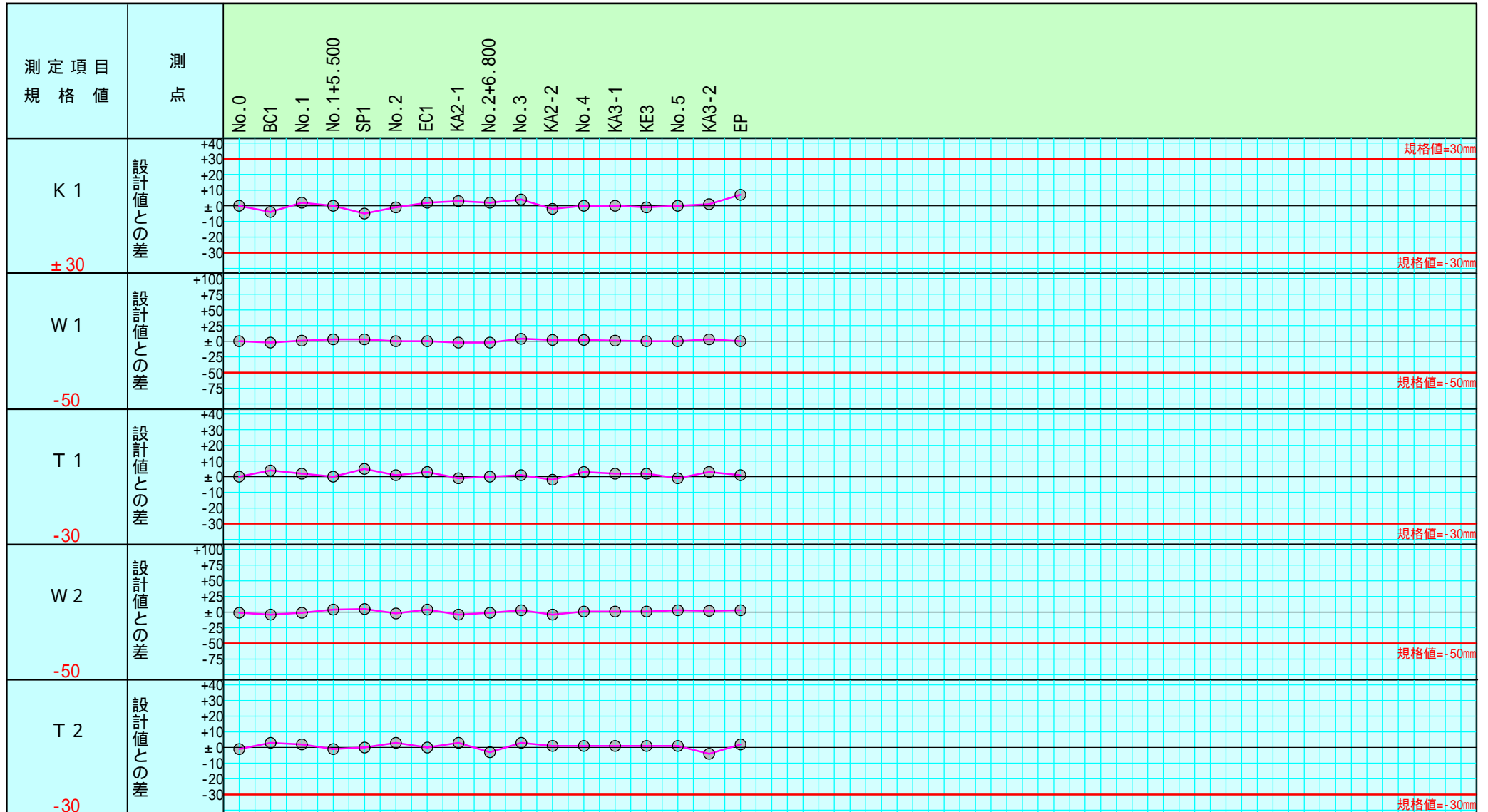
出来形管理図 (工程能力図)

工 種 水路工

種 別 プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工

測定者 日本太郎

印



注) 不要な文字は = で消すこと。

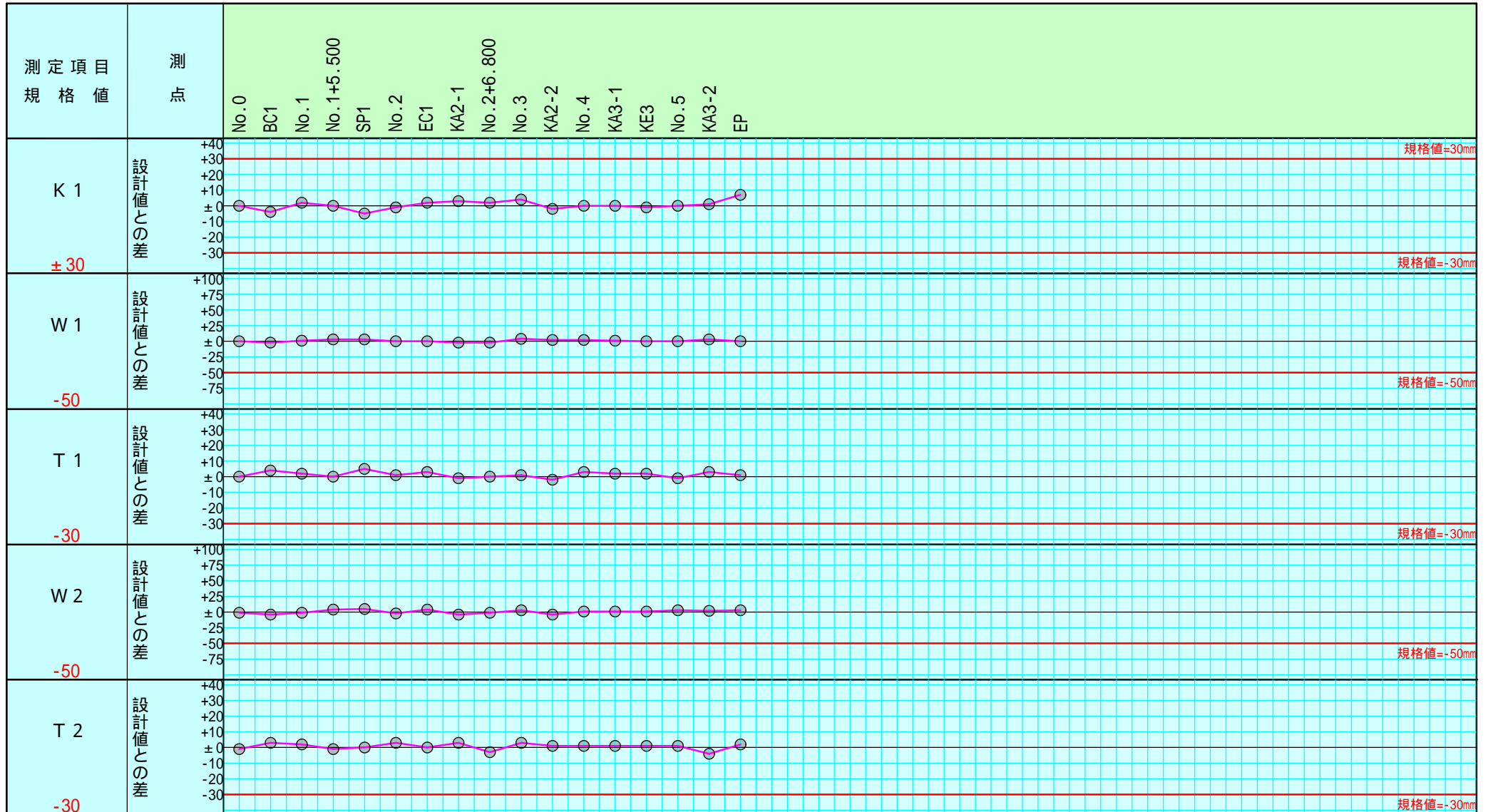
品質管理図 (工程能力図)

工 種 水路工

種 別 プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工

測定者 日本太郎

印



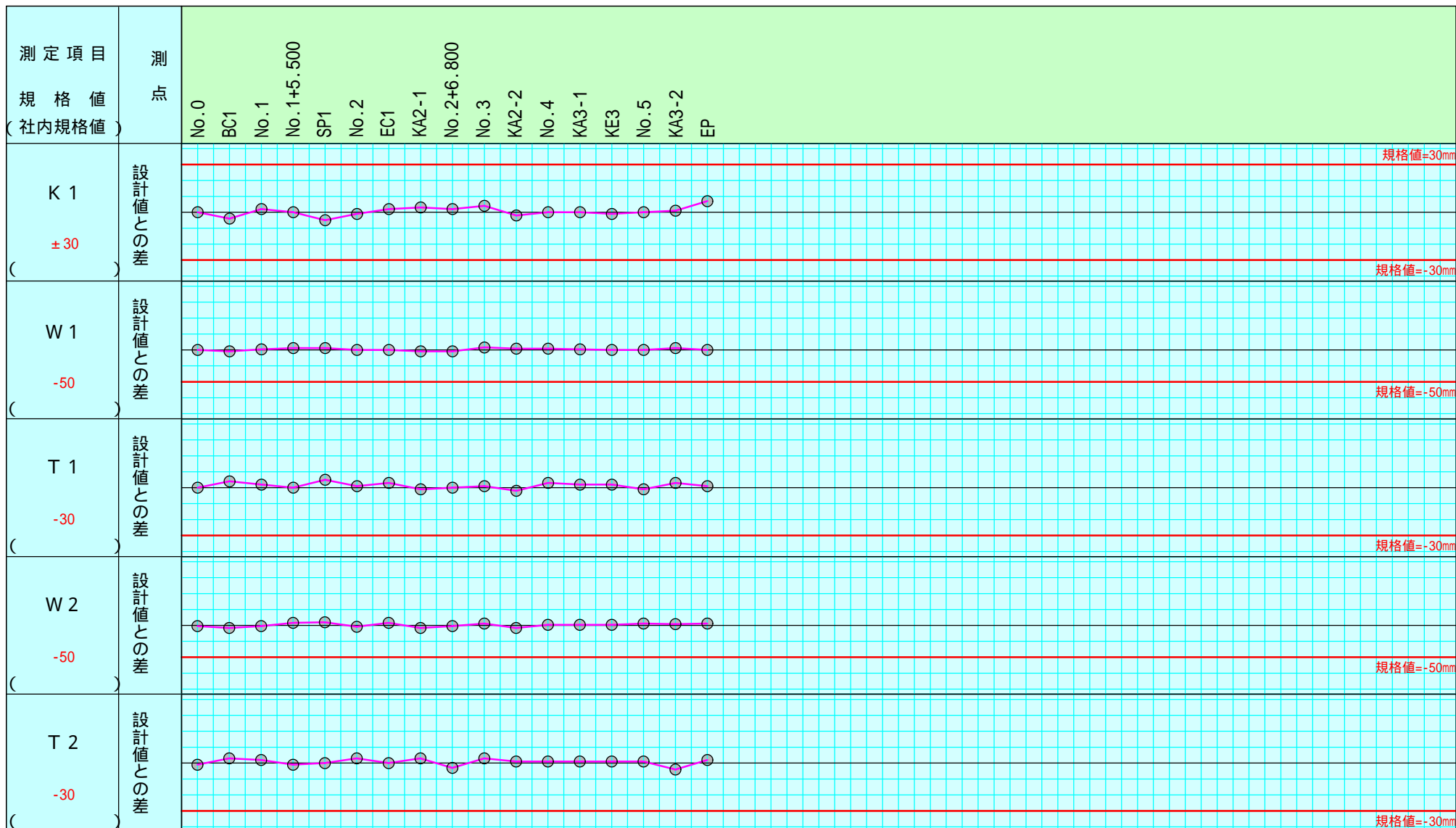
注) 不要な文字は = で消すこと。

出来形管理図 (工程能力図)

工 種 水路工
 種 別 プレキャストU字側溝・自由勾配側溝
 工

測定者 日本太郎

印



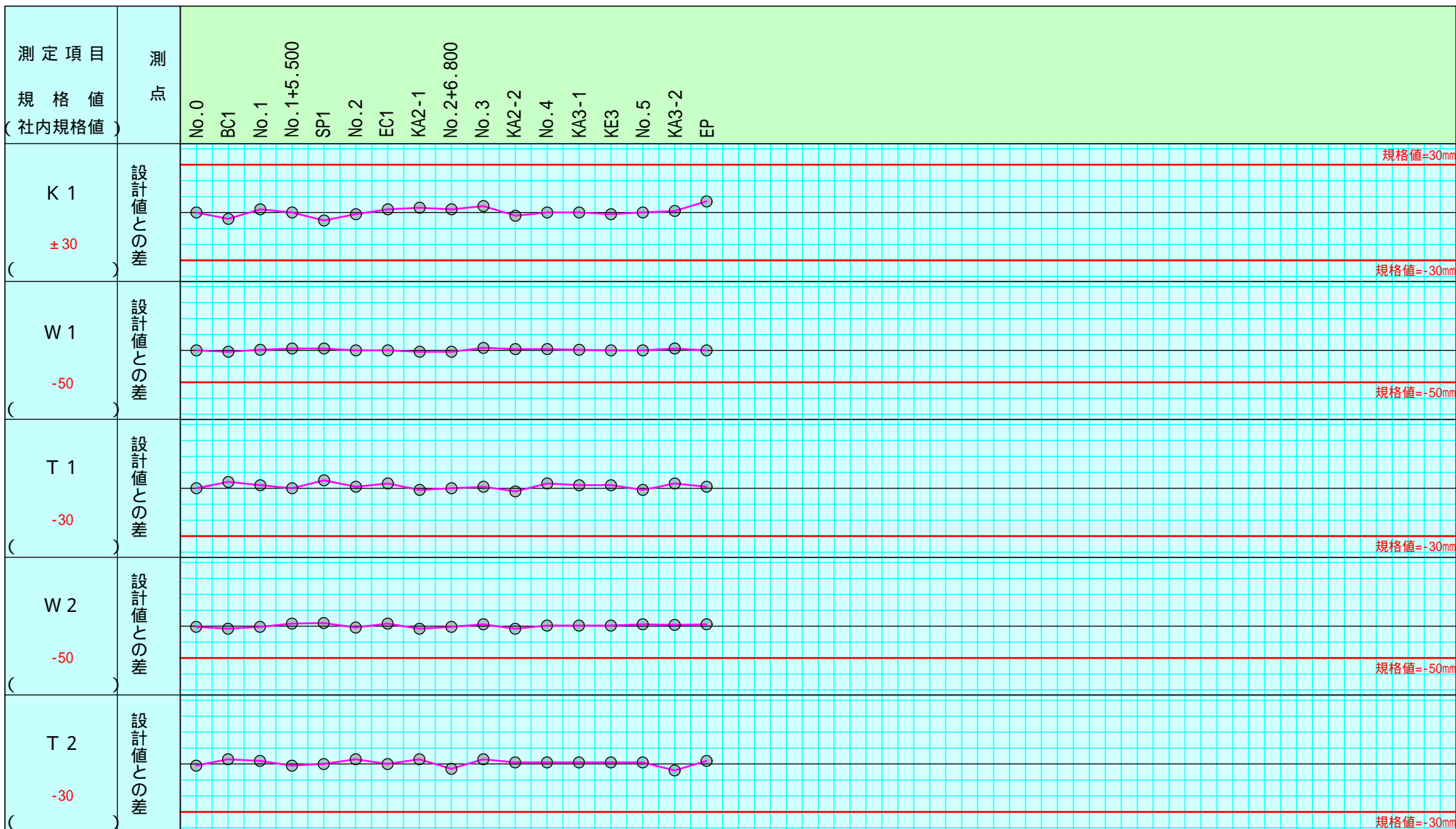
注) 不要な文字は=で消すこと。

品質管理図 (工程能力図)

工 種 水路工
 種 別 プレキャストU字側溝・自由勾配側溝
 工

測定者 日本太郎

印

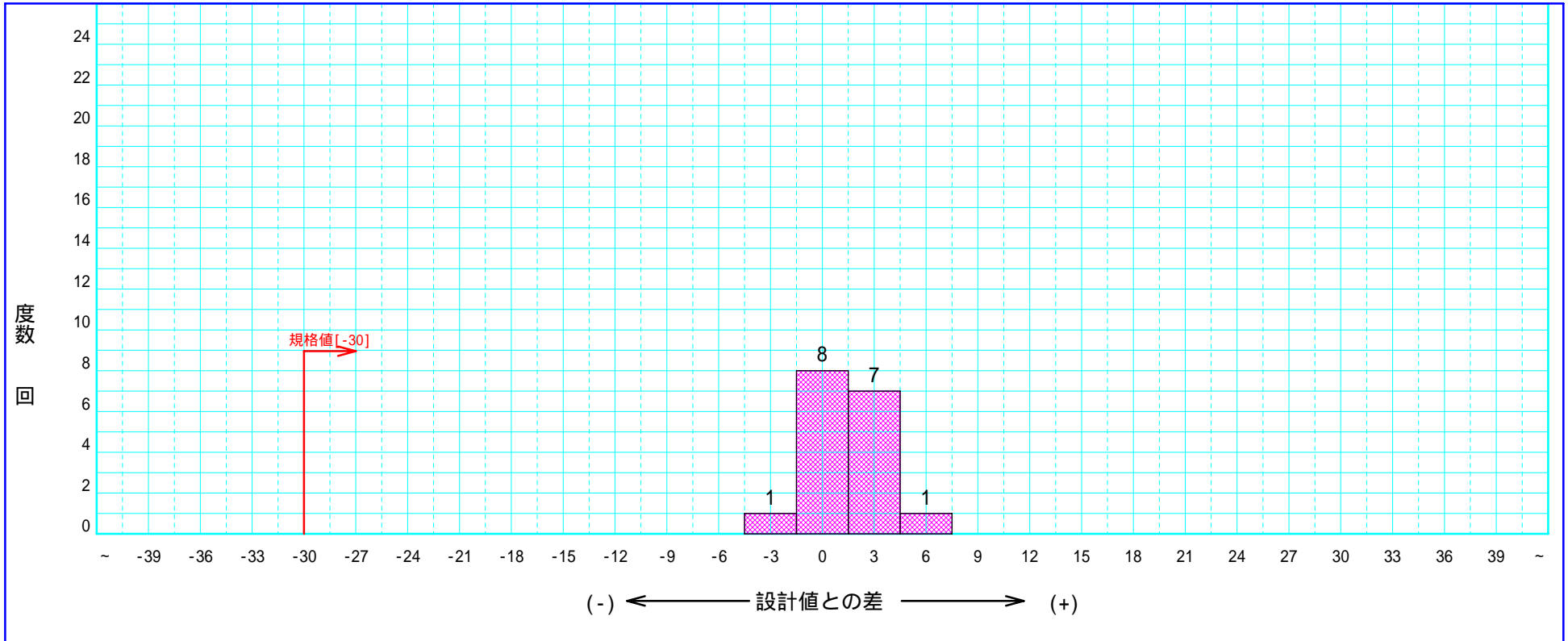


注) 不要な文字は = で消すこと。

プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工度数表

測定者 日本太郎 印

T 1



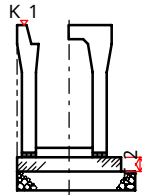
測定結果一覧表

様式 3 - 1

工事名 国道 x号線改良工事
 プレキャストU字側溝・自由
 工種名 勾配側溝工

請負会社名 ウェストフィールド株式会社
 測定者 日本太郎 印

主任監督職員	監督職員	主任技術者



管理基準値 A		規格値 B		測定単位
+	-	+	-	
		+30	-30	m

K 1

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
+	-	+	-	
			-50	mm

W 1

番号	月 日	測 点	設 計 値 C	実 測 値 D	設 計 値 との差 E = D - C	管 理 基 準 値との差 F = A - E
1		No.0	95.250	95.250	±0	
2		BC1	96.530	96.526	-4	
3		No.1	96.570	96.572	+2	
4		No.1+5.500	97.290	97.290	±0	
5		SP1	97.390	97.385	-5	
6		No.2	97.680	97.679	-1	
7		EC1	97.700	97.702	+2	
8		KA2-1	97.625	97.628	+3	
9		No.2+6.800	99.985	99.987	+2	
10		No.3	97.916	97.920	+4	
11		KA2-2	103.200	103.198	-2	
12		No.4	103.480	103.480	±0	
13		KA3-1	103.580	103.580	±0	
14		KE3	106.060	106.059	-1	

番号	月 日	測 点	設 計 値 C	実 測 値 D	設 計 値 との差 E = D - C	管 理 基 準 値との差 F = A - E
1		No.0	1,000	1,000	±0	
2		BC1	1,000	998	-2	
3		No.1	1,000	1,001	+1	
4		No.1+5.500	1,000	1,003	+3	
5		SP1	1,000	1,003	+3	
6		No.2	1,000	1,000	±0	
7		EC1	1,000	1,000	±0	
8		KA2-1	1,000	998	-2	
9		No.2+6.800	1,000	998	-2	
10		No.3	1,000	1,004	+4	
11		KA2-2	1,000	1,002	+2	
12		No.4	1,000	1,002	+2	
13		KA3-1	1,000	1,001	+1	
14		KE3	1,000	1,000	±0	

記入要項

- 「工種名」は、掘削（基準高(V)）、フルーム（厚さ(T)）、橋台工（中心線のズレ(e)）等と記入する。
- 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測定番号を記入する。

- 「月日」の欄は測定年月日を記入する。

W 1

出来形管理図表

主任監督職員	監督職員	主任技術者

工 事 名 国道 x号線改良工事 請負会社名 ウェストフィールド 株式会社
 工 種 名 プレキャストU字側溝
 ・自由勾配側溝工 測 定 者 日本太郎

管理基準値 A		規格値 B		測 定 単 位
+	-	+	-	
			-50	mm

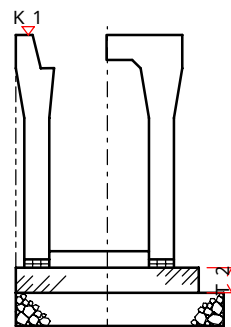
番号	月 日	測 点	設計値 C	実測値 D	設計値 との差 E = D - C	管理基準 値との差 F = A - E	設計値との差									
							-6	-4	-2	±	2	4	6			
1		No.0	1,000	1,000	±0											
2		BC1	1,000	998	-2											
3		No.1	1,000	1,001	+1											
4		No.1+5.500	1,000	1,003	+3											
5		SP1	1,000	1,003	+3											
6		No.2	1,000	1,000	±0											
7		EC1	1,000	1,000	±0											
8		KA2-1	1,000	998	-2											
9		No.2+6.800	1,000	998	-2											
10		No.3	1,000	1,004	+4											
11		KA2-2	1,000	1,002	+2											
12		No.4	1,000	1,002	+2											
13		KA3-1	1,000	1,001	+1											
14		KE3	1,000	1,000	±0											
15		No.5	1,000	1,000	±0											
16		KA3-2	1,000	1,003	+3											
17		EP	1,000	1,000	±0											

規格値 = -50 mm

記入事項

- 「工種名」は、掘削（基準高（V））、ル-b（厚さ（T））、橋台工（中心線のズレ（e））等と記入する。
- 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
- 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
- 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。

測 定 個 所 図



測定結果表

工 事 件 名 国道 ×号線改良工事	工 種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工	現場代理人	日本太郎
	測定頻度		測 定 者	日本太郎

測 定 箇 所	測 定 月 日	設計値 (mm)	実測値 (mm)	偏差値 (mm)	規格値 (mm)	摘 要
K 1 No.0		95.250	95.250	±0	±30	
BC1 No.1		96.530	96.526	-4	±30	
No.1+5.500		96.570	96.572	+2	±30	
SP1		97.290	97.290	±0	±30	
No.2		97.390	97.385	-5	±30	
EC1		97.680	97.679	-1	±30	
KA2-1		97.700	97.702	+2	±30	
No.2+6.800		97.625	97.628	+3	±30	
No.3		99.985	99.987	+2	±30	
KA2-2		97.916	97.920	+4	±30	
No.4		103.200	103.198	-2	±30	
KA3-1		103.480	103.480	±0	±30	
KA3-1		103.580	103.580	±0	±30	
記 事						

アルバム添付用出来形略図

工事名： 国道 ×号線改良工事

工種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工					測点	No.0	出来形検測
	K 1	W 1	T 1	W 2	T 2			
設計値	95.250	1,000	200	800	100			
実測値	95.250	1,000	200	799	99			
差	±0	±0	±0	-1	-1			

工種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工					測点	SP1	出来形検測
	K 1	W 1	T 1	W 2	T 2			
設計値	97.390	1,000	200	800	100			
実測値	97.385	1,003	205	805	100			
差	-5	+3	+5	+5	±0			

工種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工					測点	BC1	出来形検測
	K 1	W 1	T 1	W 2	T 2			
設計値	96.530	1,000	200	800	100			
実測値	96.526	998	204	796	103			
差	-4	-2	+4	-4	+3			

工種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工					測点	No.2	出来形検測
	K 1	W 1	T 1	W 2	T 2			
設計値	97.680	1,000	200	800	100			
実測値	97.679	1,000	201	798	103			
差	-1	±0	+1	-2	+3			

工種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工					測点	No.1	出来形検測
	K 1	W 1	T 1	W 2	T 2			
設計値	96.570	1,000	200	800	100			
実測値	96.572	1,001	202	799	102			
差	+2	+1	+2	-1	+2			

工種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工					測点	EC1	出来形検測
	K 1	W 1	T 1	W 2	T 2			
設計値	97.700	1,000	200	800	100			
実測値	97.702	1,000	203	804	100			
差	+2	±0	+3	+4	±0			

工種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工					測点	No.1+5.500	出来形検測
	K 1	W 1	T 1	W 2	T 2			
設計値	97.290	1,000	200	800	100			
実測値	97.290	1,003	200	804	99			
差	±0	+3	±0	+4	-1			

工種	プレキャストU字側溝・自由勾配側溝工					測点	KA2-1	出来形検測
	K 1	W 1	T 1	W 2	T 2			
設計値	97.625	1,000	200	800	100			
実測値	97.628	998	199	796	103			
差	+3	-2	-1	-4	+3			